

CLOSE UP アイテム ITEMS

ヘッドフォン

メゼオーディオ 99 Classics

オープン価格(2万9,800円前後)

密閉型でありながら、広がりが豊かで音源の情報を余すところなく引き出す

試聴・文●岩井 喬

プロダクトデザイナーとして活躍しているアントニオ・メゼ氏が2009年にルーマニアで創業したMeze Audio(メゼオーディオ)。その名を広く世に知らしめた製品が99 Classicsだ。99 Classicsは2015年にクラウドファンディングによって出資を募るとともに、リスナーの嗜好をリサーチして開発が行われており、ウォールナット製のウッドハウジングはブランドの出自にも結び付く隙のないデザインによって有機的なイメージを与えている。シンプルな作りであるものの、他のヘッドフォンとは一線を画す独自のフォルムを持たせたことで、美しさや個性を兼ね備えた存在感あるプロダクトとして仕上げられた。

銅製ヘッドバンド(打ち抜きマンガンスプリング仕様)から浮き上がるようにデザインされたセルフアジャスト仕様のヘッドパッド構造も合理的であり、できる限り経年劣化の恐れがある貧弱なプラスチックパーツを用いず必要最小限のパーツで構成。イヤerpッドはソフトPUレザー製で適度な反発性を持つクッションにより側圧も控えめだ。ケーブルはケプラーOFC・両出し着脱式。ドライバーはφ40mm仕様で中低域の密度も高く、ナチュラルなサウンド傾向を持つ。弾力豊かなベースと分離良い中高域のバランスの良さ、そして優れた音場性と潤いある質感描写力も価格以上のクオリティである。

ケイコ・リーの新作『Timeless 20th Century Japanese Popular Songs Collection』をAstell&Kern AK70との組み合わせで聴いてみたが、ジャズシンガーとして円熟の域にあるケイコ・リーの包容力、そして説得力ある歌声を抜けよく爽やかに表現。ゆったりと穏やかに伸びるローエンドの落ち着き

感と、ジャジーなアレンジが施された懐かしいスタンダードナンバーとの相性も抜群だ。ストリングスも分解能良くスムーズに浮き上がり、シルキーなヴォーカルを優しく包み込む。シンプルなアレンジで音と音の隙間も見やすく、リヴァーブの響きも爽やかに拡散してゆく。密閉型ではあるが、広がりが豊かで奥行きも適度に存在し、音に対しても圧迫感がない。倍音の煌き感を嫌味なくスッキリと響かせるピアノの響きも良質だ。特に「卒業写真」におけるビブラフォンやストリングス、ピアノの粒立ち細かく純度の高い描写と、ゆったりとビートを刻むリズム隊の凝縮良い押し出し感。そして抜けよく爽やかに浮き上がるヴォーカルの表情の豊かさ(ボーナストラックに佐藤

竹善とのデュエット版も収録されており、そちらも秀逸だ)も申し分なく、音源に込められた情報を余すところなく引き出してくれた。



ケイコ・リー/『Timeless 20th Century Japanese Popular Songs Collection』(ソニーレコーズ インターナショナル: SICX-89)



●形式: 密閉型 ●ドライバー: 40mmダイナミック型 ●再生周波数: 15Hz~25kHz ●感度: 103dB ●インピーダンス: 32Ω ●端子: 3.5mmステレオミニ ●重量: 260g(ケーブル含まず) ●付属品: 6.3mm変換プラグ、チャージングポート ●問い合わせ: テックウインド(株) <http://www.tekwind.co.jp/>